

第 74 回 工場見学会 参加記 株式会社資生堂 福岡久留米工場

Plant TourReport : Fukuoka Kurume Plant Shiseido Co,Ltd



株式会社資生堂 福岡久留米工場（株式会社資生堂 提供）

徳田 仁史

Hitoshi TOKUDA

みづほ工業株式会社
設計部 設計部長

General Manager,
Design dept,
Mizuho Industrial Co,Ltd

1 はじめに	13 : 15 ~ 歓迎のご挨拶・工場概要・講演
2023 年 10 月 26 日（木）に製剤機械技術学会が主催する第 74 回工場見学会が福岡県久留米市の株式会社資生堂福岡久留米工場で開催された。	14 : 10 ~ 見学スタート映像・2 班に分かれ、生産工程紹介→製造室→生産ラインの順で工場見学
今回見学会が行われた福岡久留米工場は IoT (Internet of Things) 技術を取り入れた最先端の工場として	15 : 50 ~ 質疑応答
2022 年 5 月に稼働を開始した工場の見学会ということで、定員 40 名に対して参加希望者が大幅に上回る結果であったため、抽選で各社 1 名選ばれ、40 名が見学会に参加した。	16 : 10 ~ 閉会の挨拶
2 工場見学会スケジュール	3 株式会社資生堂 福岡久留米工場の概要
～ 11 : 20 山陽新幹線「博多駅」に集合・受付 ※貸切バスにて現地まで移動	主な生産品目としてエイジングケアブランドである『エリクシール』、『アクアレーベル』などの国内外向け中価格帯スキンケア製品、『アネッサ』などのスキンケア製品等を製造。
13 : 00 ~ お出迎え・集合写真撮影	『SHISEIDO BEAUTY PLANET』のコンセプトは《美の循環》。地球の万物はあらゆるものが大きく輪を描くようにつながっていることから、この輪を《美の循環》と名付けている。福岡久留米工場は、その循環の輪の一部として化粧品を生産し生活者のもとへ美
13 : 10 ~ 開会の辞	

しさをお届けしている。	五感を活かし、視覚、触覚、嗅覚を使って行う官能検査について紹介。ごくわずかな色の差を識別するなど
創業は1872年。2023年9月で151周年目を迎え、2030年のビジョン「Personal Beauty Wellness Company」の実現を目指している。資生堂の特徴として女性管理職がグローバルで58.1%、世界で11工場あり、年間資産の70%を国内工場で行っている。	の官能パネラーの仕事を模擬体験として行った。
福岡久留米工場は最先端のIoTを取り入れた効率的な生産を特長とし、資生堂のスキンケア領域の生産をグローバルでリードしている。また、地域に開かれた工場として、民間・官公庁・学校など地域の交流活動の場となれるよう、共存共栄をめざしている。	ワークショップでは資生堂の製品である日焼け止め「アネッサ」や紫外線についての解説と、紫外線に反応するビーズを使って、プレスレット等を作製した。
	製造室では本釜、サブ釜（溶解槽）を含め15台（MAX5t仕様が3台）が両サイド平面に配置されていた。新たな取組として製造釜に複数のセンサーを取付けてセンシングを行い、バルクの状況（粒度分布計測等）をリアルタイムに把握できるシステムで製造工程を標準化する検討を進めている。
4 工場内見学	生産ラインでは、IoT技術を導入した充填・包装仕上ラインであり従来の約3倍の生産性となっている。リニアモーターを使用した装置で且つメカ駆動が少ないため故障しにくい。また品種替えも容易に行うことが出来るようになっている。包装はロボットの使用により自動化となり生産効率の高いラインとなっている。
見学のスタート地点となるホールは階段状のシアター形式となり、大型スクリーンにて資生堂のプロモーション動画を視聴しながら、及川工場長のお話をうかがった。またホール上段の壁は地元の伝統工芸品「久留米 緋」のタペストリーとなっており、落ち着いたホールである。参加者40名を2班に分かれ各20名で見学を行った。	
生産工程紹介では、プロジェクションマッピングによる工程解説となり、原材料の調達、化粧品の製造、容器への充填、包装などの各工程をプロジェクションマッピングで視覚的に紹介、意匠を凝らしたビジュアルと音響でアトラクションのように楽しめた。	5 質疑応答
検査体験エリアでは、「官能パネラー」と呼ばれる検査員が、匂いや色、使い心地といった品質を人間の	製造、生産に関する自動化・IoT化について質問が主であった。そのうち1つは下記の通りであった。
	Q1 ：「センシングと情報処理技術による生産技術の標準化、高度化」の具体例をご教授いただきたい。
	A1 ：見学でご覧いただいた通り、バルク製造のセ



見学風景



見学風景

ンシングによる製造工程の標準化、充填包装
仕上における各機器の信号を処理すること
による必要資材の供給タイミングの見える化な
どを行っている。

6 謝辞

最後になりましたが、ご多忙中にも関わらず、今回
この様な貴重な工場見学をさせていただく機会を与
えて下さった株式会社資生堂福岡久留米工場の皆様
ならび見学会の開催にご尽力いただいた製剤機械技
術学会工場見学委員会の皆様に深く感謝を申し上げ
ます。



株式会社資生堂 福岡久留米工場での集合写真